



## サマリー

### 博報堂DYグループ概要

2003年10月の博報堂、大広、読売広告社の経営統合により、博報堂DYホールディングスが発足しました。同年12月総合メディア事業会社である博報堂DYメディアパートナーズを設立し、「博報堂DYグループ」が誕生しました。2014年に博報堂DYホールディングスに「博報堂DYグループCSR委員会」を設置し、当社グループとして初めてCSRレポートを発行。今年で3回目となります。

### CSRの考え方

当社グループにとってのCSRは、生活者、社会の中に新しい幸せを生み、つなげ、広げていくことを目指しています。日々の仕事を通し、主体的に取り組むアクションの“Advanced CSR”と、企業として果たすべき責任への取り組みの“Basic CSR”の2つの活動で構成されています。

#### Advanced CSR

Advanced CSRの活動は9つのテーマに分け、「シンクタンクの活動」3、「公開している生活者調査」9、「グローバル課題へのアプローチ」5、「多様な社会を目指す活動」10、「地域課題への取り組み」16、「子育て世代に向けた取り組み」9、「健康への取り組み」5、「東北復興支援と防災への取り組み」13、「伝える力を活かす取り組み」13の合計83件の活動を紹介しています。

なお、2014年・2015年発行のCSRレポートでは「伝える力を活かす取り組み」の中で、当社グループの社員による教育機関等での講師活動を個別にご紹介してきましたが、本レポートでは博報堂と博報堂DYメディアパートナーズの講師活動の総実施回数を記載しています。2015年度は75の教育機関で111人の社員が累計680回の講義を行いました。

#### Basic CSR

Basic CSRでは、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、2015年12月に当社グループの「コーポレートガバナンスガイドライン」を制定しました。

また、当社グループ障がい者雇用率は、グループ算定で2.15%（2016年6月1日現在）。障がい者雇用のさらなる拡大を目指していきます。

### 活動紹介にあたって

2016年は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals = SDGs）」の実施元年です。経済成長、社会的包摂、環境保全に配慮しながら、2030年までに達成すべき地球規模の優先課題を掲げた行動計画です。このSDGsの整理に基づいて、当社グループの活動それぞれに17目標のアイコンを付記し、より分かりやすく各活動の紹介を試みています。P22では各活動に付記したSDGsのアイコン数を集計し、Advanced CSRの傾向を示しました。